

まちの課題に対する検討について

第4回 検討委員会 資料

令和3年2月24日（水）

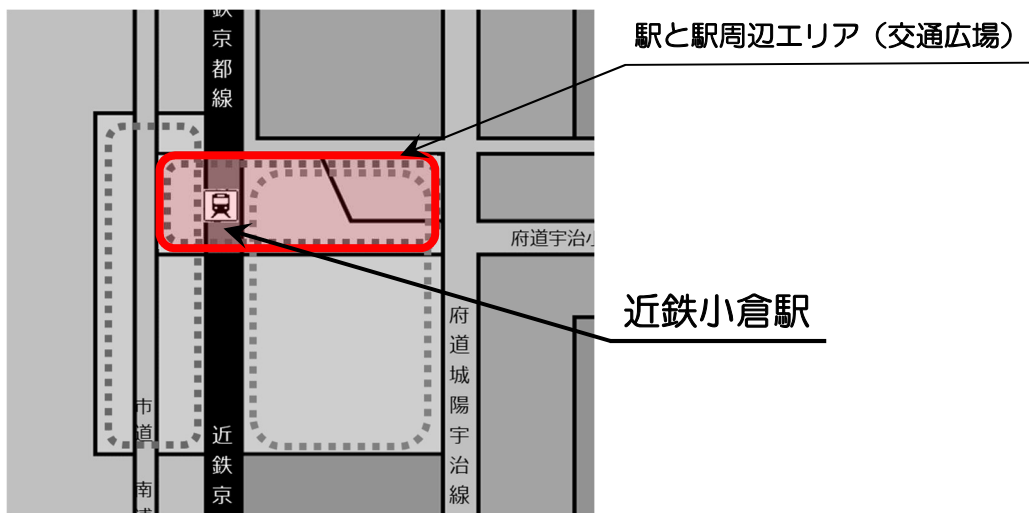
近鉄小倉駅周辺地区まちづくり検討委員会

事務局 宇治市都市整備部都市計画課

まちの課題に対する検討について

1 早期検討課題（駅前ゾーン）

- 前回委員会では、『駅と駅周辺エリア（交通広場）』における必要な機能として、
 - ・東西移動性（歩行者バリアフリー）の向上
 - ・駅東側：中距離エリアをカバーする交通結節機能の設置
 - ・駅西側：駅近傍に車の乗降環境を整備と設定。
- 『駅と駅周辺エリア（交通広場）』に関係する駅舎・駅前広場の整備については、周辺土地利用の状況も踏まえて早期に検討すべき課題。



- **今回は、現在更地であり、土地利用の動きのある駅西側における交通広場の整備の必要性について検討した結果を以下に示す**

1. 駅前西側での交通広場の必要性



1) 地域意見の聴取結果より

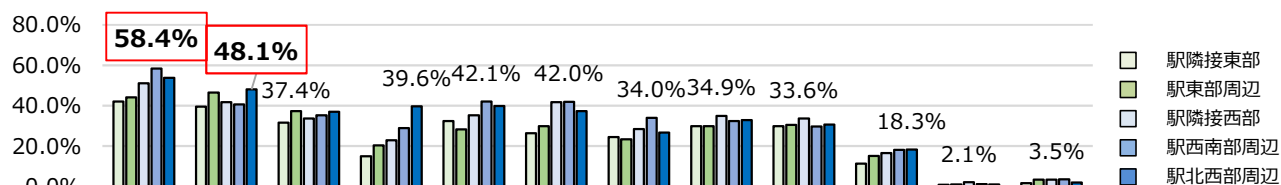
①アンケート調査結果（R1）

駅前西側の改善点として高い割合で求められていることは、

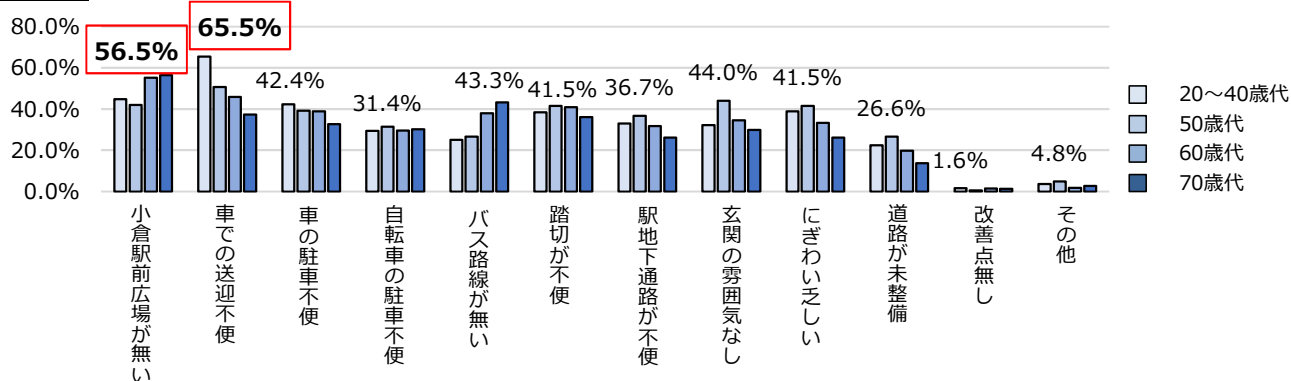
- 駅前広場がない
- 車での送迎が不便

問：駅西側の改善課題

居住エリア別



年齢階層別



R1 市民アンケート調査結果より

②ワークショップ（H30、R1）

駅前広場の整備をはじめとした、車の乗降環境の整備を求める声が多数。

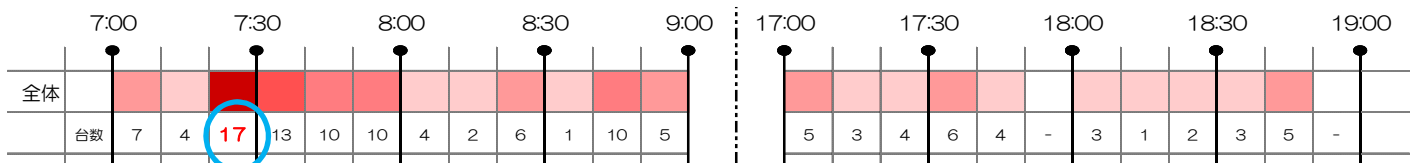
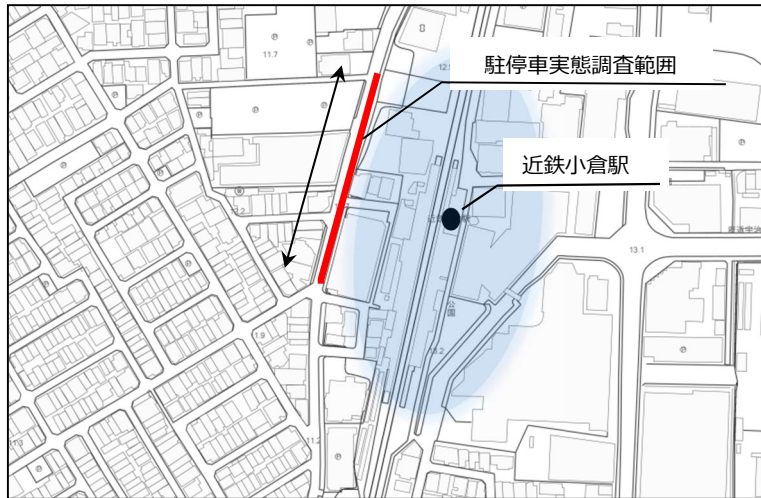


R1 市民アンケート結果報告会（ワークショップ結果）より

2) 地域の実態より

● 近鉄小倉駅西側における路上駐停車の実態調査（簡易目視調査）（R2）

朝夕の送迎実態について調査。特に午前7時から午前9時のうち、10分間で17台が道路上に停車する時間帯もある。（送迎車の約90%が1分以内の短時間停車）



R2 近鉄小倉駅周辺路上駐停車実態調査（簡易目視）より

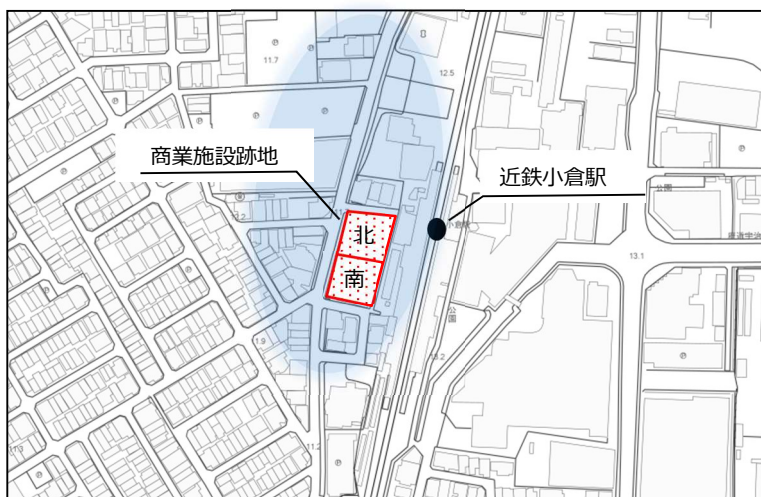
3) 検討委員会より

●委員意見（第1回～第3回）

- ・長期的な計画と短期的な計画とを分けて検討すべき。駅前の建物の解体・売却が進んでおり、計画をゆっくり進めていると手の打ちようがない状況が起こるのではないかと危惧。
- ・土地利用等について基本構想に盛り込むと思われるが、土地利用の動きがある中で土地を確保できなければその実現は難しい。並行して考えていくべき課題。
- ・一番の喫緊の課題は、東西移動がバリアフリー化されていない点と駅前広場が未整備ということ。

- 1. 1) ～ 3) より、市としては、駅前西側に交通広場が必要であると確認

2. 商業施設跡地取得の検討状況（土地所有者へ意向ヒアリング）



1. の内容を踏まえ、以下のとおり検討。

- ①令和元年 12 月、商業施設跡地の南側（およそ半分）で開発事業の構想の届出あり
- ②第 3 回本委員会後に土地所有者より、駅前広場整備実現のため、
『地域貢献のために北側用地の協力意向』が示される
- ③駅前広場整備の実現性の検討に着手

●北側用地で駅前広場が整備可能と確認



- ④その後、土地所有者より、
『商業施設跡地の南側での計画規模を縮小することで、更なる地域貢献』
の意向が示される



●計画規模縮小で発生する用地を有効活用し、市営駐輪場の整備を検討

・交通結節機能（道路と駅を“つなぐ”）の強化

- | |
|---------------------------|
| 北側：駅と車両（自家用車・タクシー）利用者をつなぐ |
| 南側：駅と車両（自転車）利用者をつなぐ |

●検討する駐輪場は、「宇治市公共施設等総合管理計画」及び「宇治市自転車等駐車場再整備実施方針」に基づき、適正規模で再整備



●当該用地の早期取得を目指す

2 中長期検討課題

第 3 回検討委員会では、4 つのゾーンごとで課題と魅力を整理し、まちづくりの方向性を以下のとおり整理した。（第 3 回委員会資料より再掲）

駅前ゾーン



まちの玄関にふさわしい
にぎわいのある空間の創出



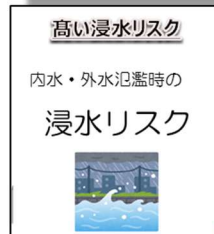
駅西住宅ゾーン



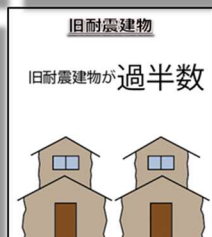
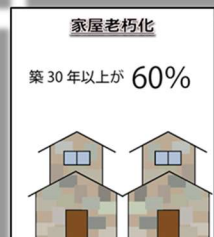
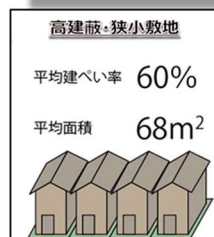
商業ポテンシャルを活かした
にぎわいの創出



生活利便性の向上



防災性の向上



住環境の改善



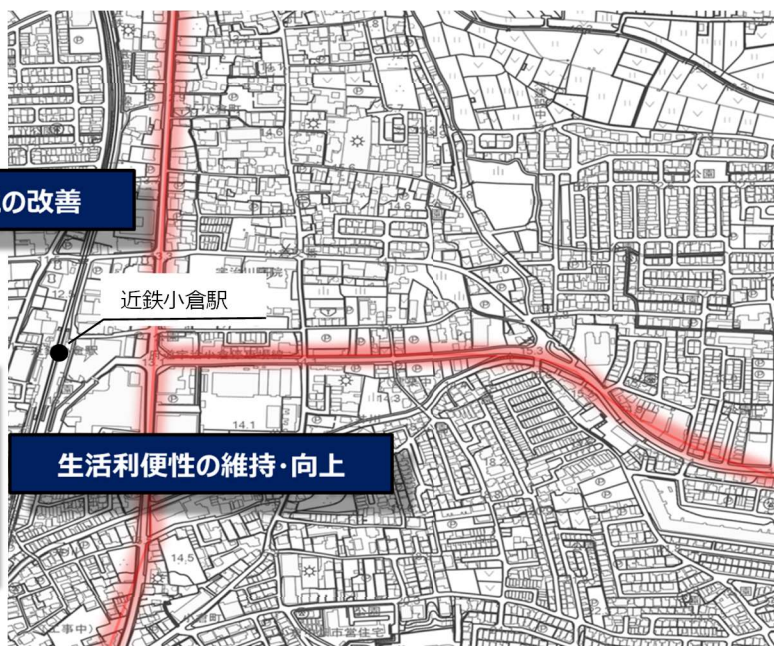
幹線道路沿道ゾーン



住環境の改善



生活利便性の維持・向上



旧大和街道住宅ゾーン



“ふるさと”の
まちなみ継承



- 次回以降の検討委員会で、まちづくりの方向性を踏まえた今後の取り組み方針を確認していく